

令和 3 年度

歳入歳出決算補充説明書

防災対策部

防災対策部の所管する令和3年度歳入歳出決算につきまして、お手元の「令和3年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」によりご説明申し上げます。

令和3年度の防災対策部関係の歳入につきましては、予算現額 25 億 5,974 万 8,600 円に対し、調定額、収入済額とも 25 億 7,202 万 6,982 円となっております。

それでは、歳入決算の詳細につきまして順次ご説明申し上げます。

まず、40 頁、第7款「分担金及び負担金」第2項「負担金」第1目「総務費負担金」のうち当部関係は、41 頁の「防災行政無線整備事業負担金」で、予算現額 1 億 8,084 万 9,000 円に対し、調定額、収入済額とも 1 億 8,084 万 9,900 円となっております。

次に、46 頁、第8款「使用料及び手数料」第1項「使用料」第1目「総務使用料」のうち当部関係は、予算現額 351 万 7,000 円に対し、調定額、収入済額とも 350 万 8,716 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
土地使用料	732,496
建物使用料	2,776,220
合 計	3,508,716

また、50 頁、第 2 項「手数料」第 1 目「総務手数料」のうち当部関係は、予算現額 8,800 万 5,000 円に対し、調定額、収入済額とも 8,448 万 575 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
消防法関係手数料	44,727,500
ガス関係手数料	26,457,075
火薬関係手数料	1,941,100
電気関係手数料	11,354,900
合 計	84,480,575

従いまして、第 8 款「使用料及び手数料」の合計は、予算現額 9,152 万 2,000 円に対し、調定額、収入済額とも 8,798 万 9,291 円となっております。

次に、70 頁、第 9 款「国庫支出金」第 1 項「国庫負担金」第 2 目「総務費負担金」のうち当部関係は、71 頁の「国民保護訓練費負担金」で、予算現額 18 万円に対し、調定額、収入済額とも 10 万 946 円となっております。

また、78 頁、第 2 項「国庫補助金」第 1 目「総務費補助金」のうち当部関係は、予算現額 2,020 万 9,000 円に対し、調定額、収入済額とも 3,898 万 7,650 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
地方創生推進交付金	9,230,360
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	29,757,290
合 計	38,987,650

また、102 頁、第 8 目「土木費補助金」のうち当部関係は、103 頁の「社会資本整備総合交付金」で、予算現額 0 円に対し、調定額、収入済額とも 25 万 7,000 円となっております。

従いまして、第 9 款「国庫支出金」の合計は、予算現額 2,038 万 9,000 円に対し、調定額、収入済額とも 3,934 万 5,596 円となっております。

次に、120 頁、第 10 款「財産収入」第 1 項「財産運用収入」第 2 目「利子及び配当金」のうち当部関係は、121 頁の「利子収入」の一部で、予算現額 4 万 6,000 円に対し、調定額、収入済額とも 2 万 3,133 円となっております。

また、120 頁、第 2 項「財産売払収入」第 2 目「物品売払収入」のうち当部関係は、121 頁の「物品売払収入」の一部で、予算現額 191 万 7,000 円に対し、調定額、収入済額とも 191 万 7,300 円となっております。

従いまして、第 10 款「財産収入」の合計は、予算現額 196 万 3,000 円に対し、調定額、収入済額とも 194 万 433 円となっております。

次に、124 頁、第 11 款「寄附金」第 1 項「寄附金」第 2 目「総務費寄附金」のうち当部関係は、125 頁の「防災対策寄附金」で、予算現額、調定額、収入済額とも 2,000 万円となっております。

次に、128 頁、第 12 款「繰入金」第 2 項「基金繰入金」第 1 目「基金繰入金」のうち当部関係は、予算現額 832 万 7,000 円に対し、調定額、収入済額とも 707 万 3,338 円となっております。

次に、130 頁、第 13 款「繰越金」第 1 項「繰越金」第 1 目「繰越金」のうち当部関係は、予算現額、調定額、収入済額とも 198 万 3,600 円となっております。

次に、142 頁、第 14 款「諸収入」第 6 項「収益事業収入」第 1 目「宝くじ収入」のうち当部関係は、予算現額、調定額、収入済額とも 2 億 9,771 万 2,000 円となっております。

また、同頁、第8項「雑入」第2目「雑入」のうち当部関係は、予算現額4,600万3,000円に対し、調定額、収入済額とも4,413万2,824円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
雑入	44,022,424
広告収入	110,400
合 計	44,132,824

従いまして、第14款「諸収入」の合計は、予算現額3億4,371万5,000円に対し、調定額、収入済額とも3億4,184万4,824円となっております。

次に、148頁、第15款「県債」第1項「県債」第1目「総務債」のうち当部関係は、予算現額、調定額、収入済額とも18億9,100万円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額 (円)
防災行政無線整備事業費充当	1,742,000,000
防災ヘリコプター運航管理費充当	108,000,000
防災情報プラットフォーム事業費充当	29,000,000
広域防災拠点維持管理費充当	12,000,000
合 計	1,891,000,000

以上、歳入決算の概要についてご説明申し上げました。引き続き、歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

令和3年度の防災対策部関係の歳出につきましては、予算現額 36 億 5,693 万 2,600 円に対し、支出済額 36 億 1,549 万 8,570 円で、不用額 4,143 万 4,030 円となっております。

それでは、歳出決算の詳細につきまして順次ご説明申し上げます。

まず、192 頁、第 2 款「総務費」のうち、第 2 項「企画費」第 5 目「危機管理費」ですが、予算現額 97 万 8,000 円に対し、支出済額 96 万 2,000 円、不用額 1 万 6,000 円であり、これは、県政を取り巻くさまざまなリスクに対し、的確な危機管理体制づくりを行う「危機管理推進事業費」に要した経費です。

次に、230 頁、第 8 項「防災費」につきましては、予算現額 36 億 5,595 万 4,600 円に対し、支出済額 36 億 1,453 万 6,570 円、不用額 4,141 万 8,030 円となっております。

まず、同頁、第 1 目「防災総務費」は、予算現額 33 億 9,716 万 5,600 円に対し、支出済額 33 億 6,246 万 8,889 円、不用額 3,469 万 6,711 円となっております。

支出済額の主な内容は、職員の人件費である「給与費」、防災通信ネットワークの再整備にかかる「防災行政無線整備事業費」、防災ヘリコプターの運航にかかる「防災ヘリコプター運航管理費」など、防災対策の推進にかかる各種事業に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額 (円)
給与費	640,863,164
防災対策費	162,206,291
地震対策費	132,678,207
防災行政無線管理費	161,230,078
防災行政無線整備事業費	1,927,074,189
防災ヘリコプター運航管理費	327,242,455
その他 (防災総務費、国民保護費)	11,174,505
合計	3,362,468,889

なお、不用額の主なものは「地震対策費」の事業実績及び補助金額の減などです。

次に、232 頁、第 2 目「消防指導費」は、予算現額 2 億 1,977 万 8,000 円に対し、支出済額 2 億 1,523 万 6,478 円、不用額 454 万 1,522 円となっております。

支出済額の主な内容は、危険物取扱者等の保安講習、免状作成にかかる「予防費」、消防学校の運営管理と施設整備にかかる「消防学校費」など、県内の消防体制の確立にかかる事業に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額（円）
消防費	25,307,405
予防費	37,551,125
消防学校費	152,377,948
合計	215,236,478

なお、不用額の主なものは、「予防費」の実績減などです。

次に、234 頁、第 3 目「銃砲火薬ガス等取締費」ですが、予算現額 1,908 万 3,000 円に対し、支出済額 1,695 万 3,892 円、不用額 212 万 9,108 円であり、これは、高圧ガス製造販売施設等の設置許可及び完成検査、保安検査等にかかる「高圧ガス費」、銃砲火薬類の取り扱いの規制、電気工事士免状の交付等に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額（円）
高圧ガス費	15,183,752
銃砲火薬類取締費	498,411
電気関係取締費	1,271,729
合計	16,953,892

なお、不用額の主なものは、「高圧ガス費」の実績減などです。

最後に、236 頁、第 4 目「災害救助費」ですが、予算現額 1,992 万 8,000 円に対し、支出済額 1,987 万 7,311 円、不用額 5 万 689 円であり、これは、災害救助基金の積立等に要した経費です。

なお、不用額は、「災害救助事業費」の実績減です。

以上をもちまして、防災対策部関係の令和 3 年度歳入歳出決算の概要説明を終わります。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。